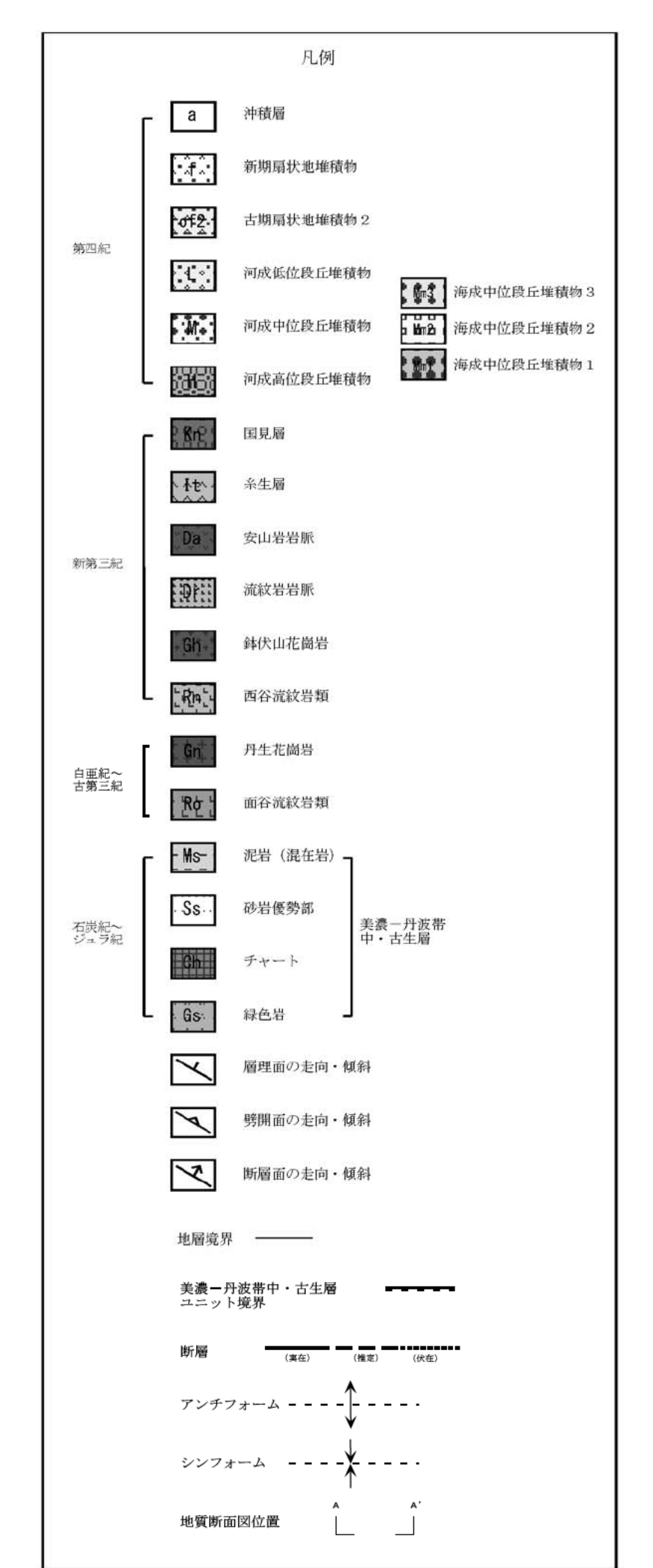
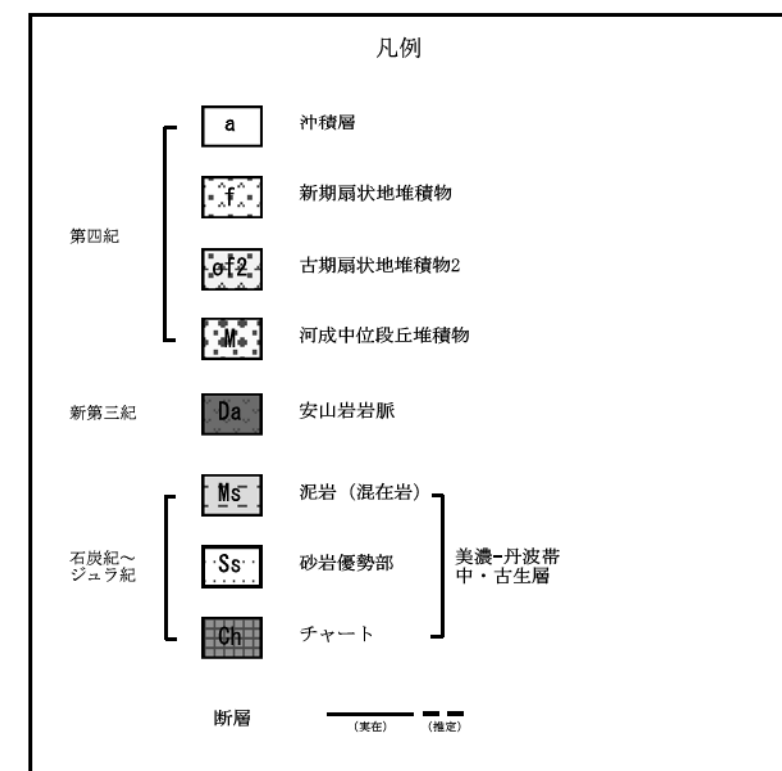
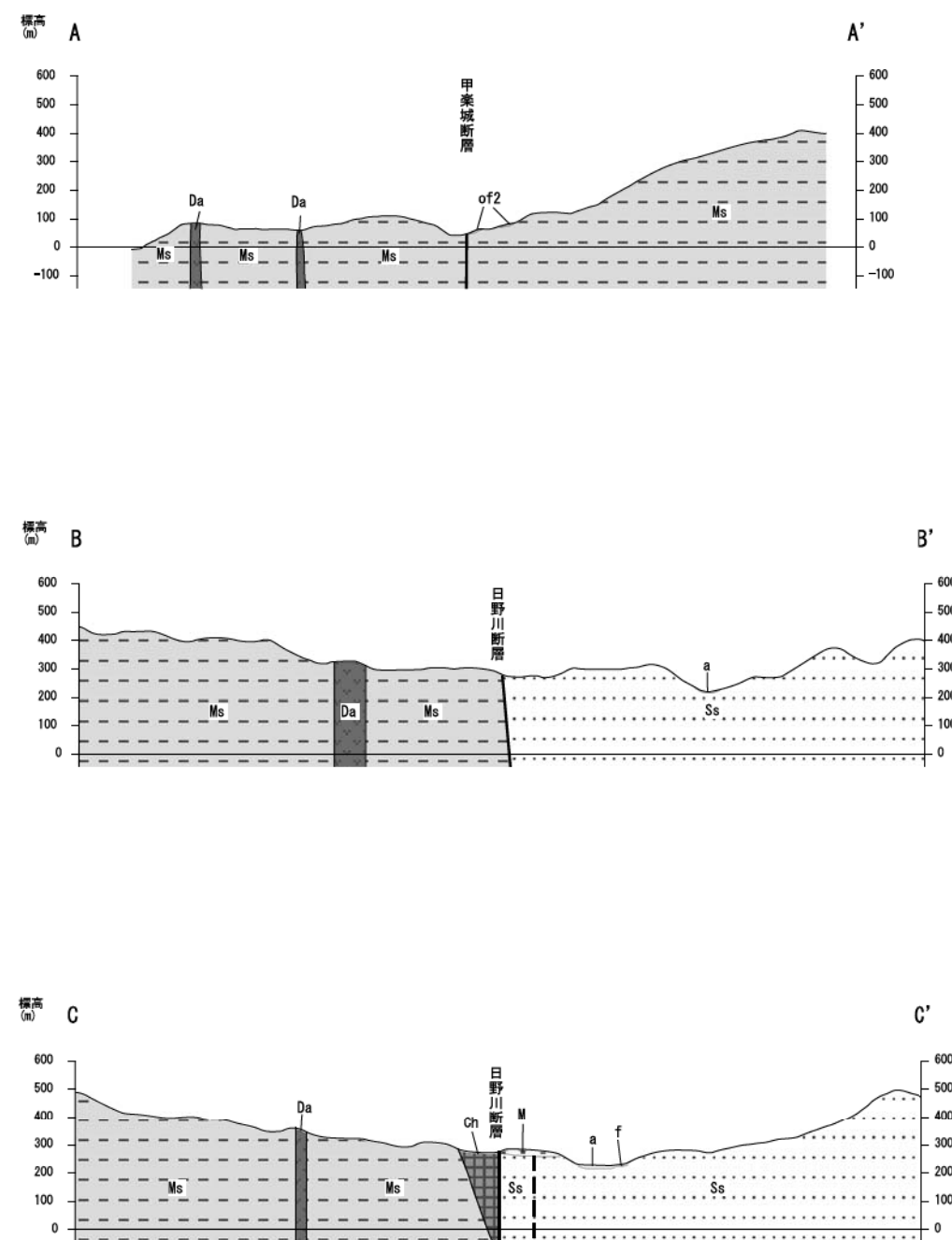
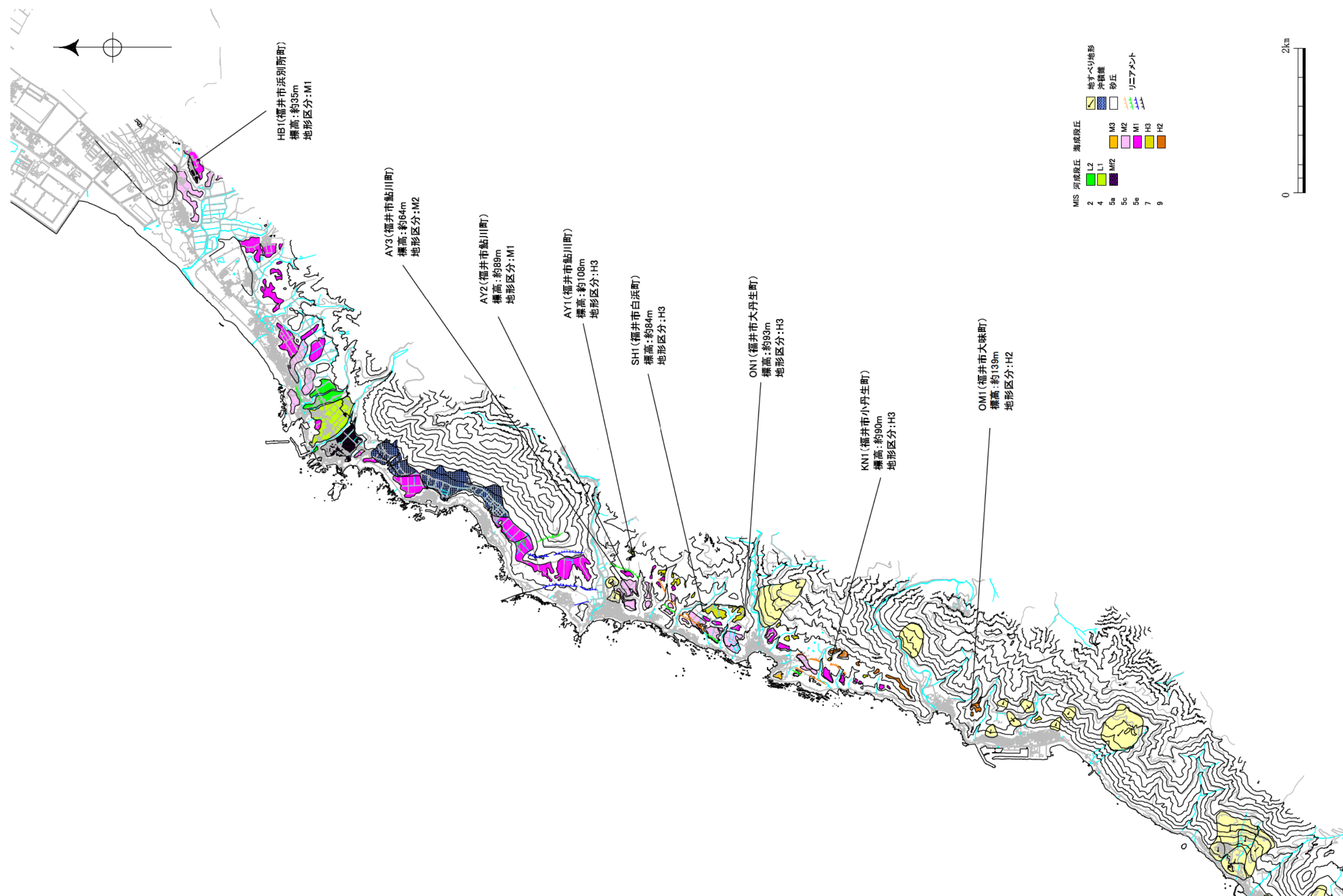




第1.3.16図(1) 和布一干飯崎沖断層，甲楽城断層周辺陸域の地質図（その1）



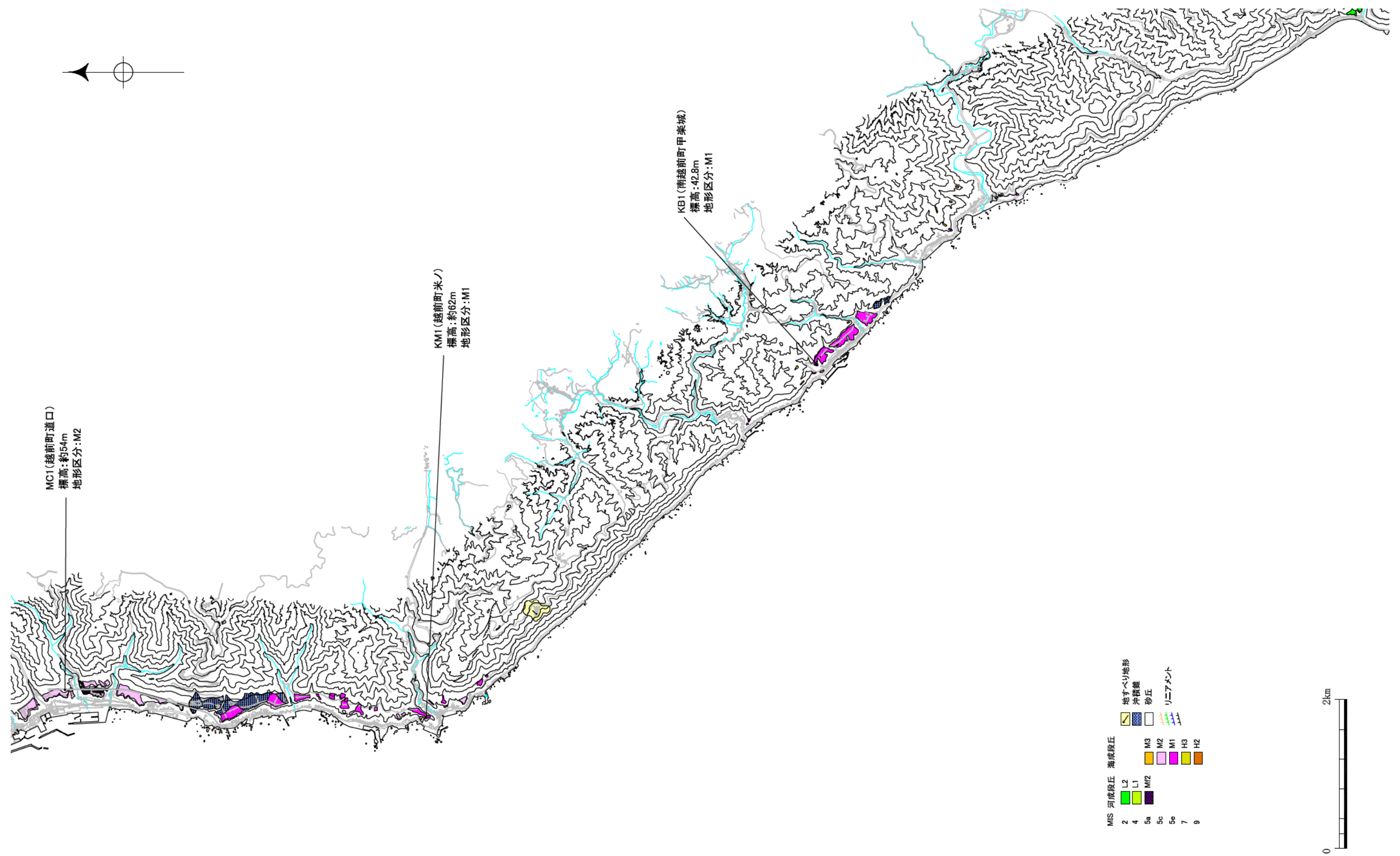
第1.3.17図 和布～干飯崎沖断層，甲斐城断層周辺陸域の地質断面図



第1.3.18図(1) 和布一干飯崎沖断層，甲楽城断層 段丘面調査結果（その1）

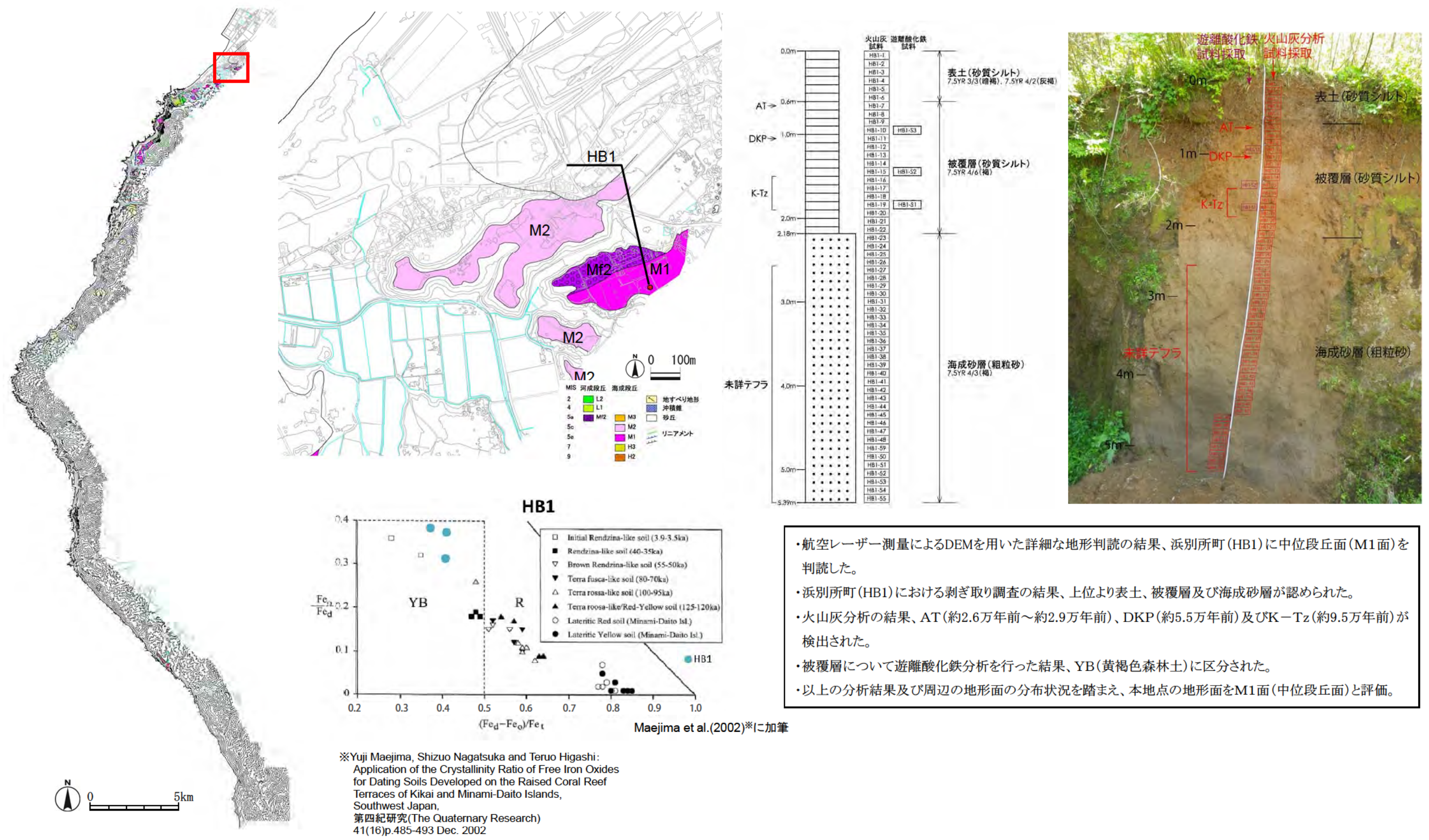


第1.3.18図(2) 和布一干飯崎沖断層，甲楽城断層 段丘面調査結果（その2）



第1.3.18図(3) 和布ー干飯崎沖断層，甲楽城断層 段丘面調査結果（その3）

段丘面調査結果(福井市浜別所町、HB1、標高約35m)

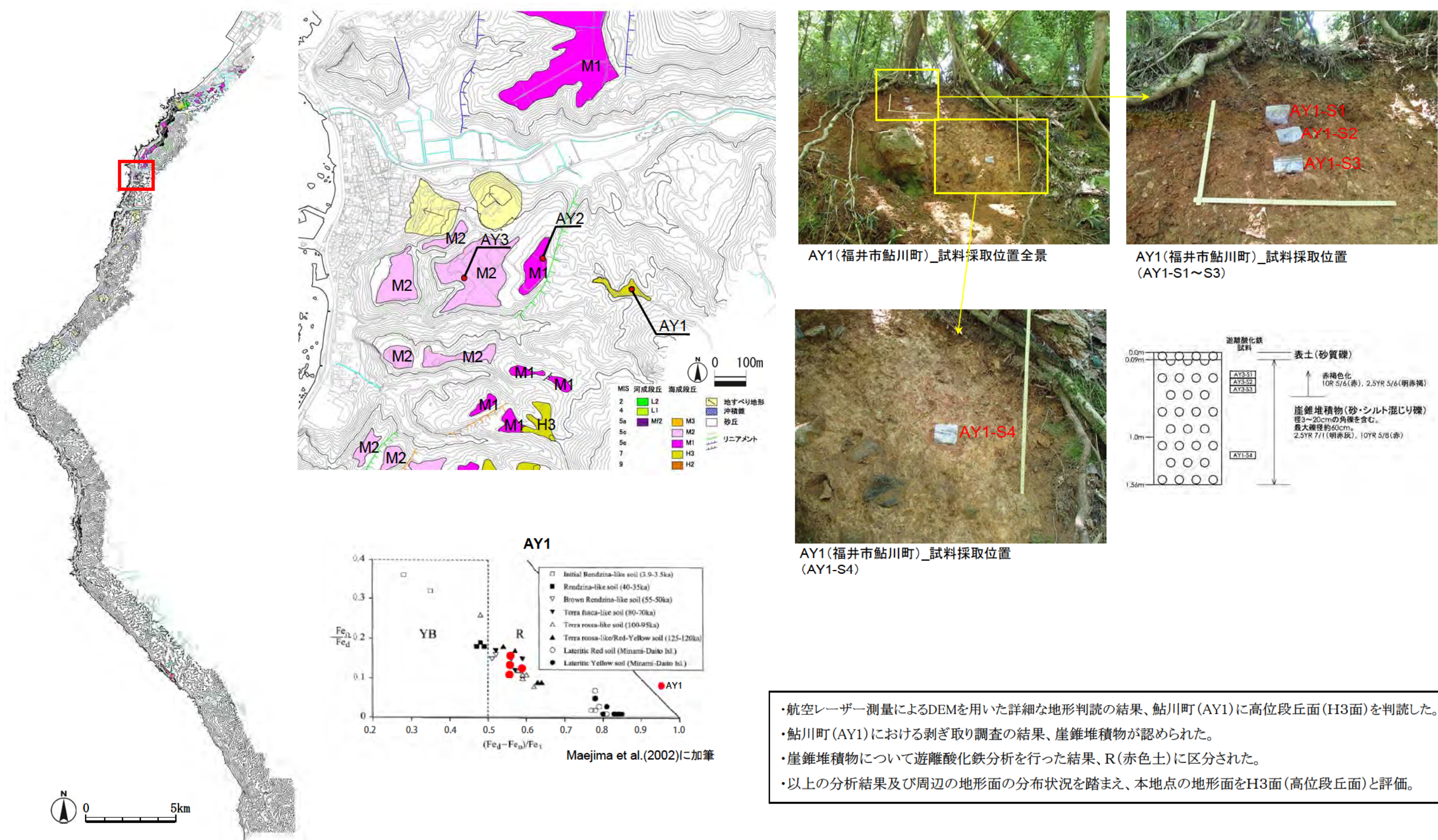


- ・航空レーザー測量によるDEMを用いた詳細な地形判読の結果、浜別所町(HB1)に中位段丘面(M1面)を判読した。
- ・浜別所町(HB1)における剥ぎ取り調査の結果、上位より表土、被覆層及び海成砂層が認められた。
- ・火山灰分析の結果、AT(約2.6万年前～約2.9万年前)、DKP(約5.5万年前)及びK-Tz(約9.5万年前)が検出された。
- ・被覆層について遊離酸化鉄分析を行った結果、YB(黄褐色森林土)に区分された。
- ・以上の分析結果及び周辺の地形面の分布状況を踏まえ、本地点の地形面をM1面(中位段丘面)と評価。

※Yuji Maejima, Shizuo Nagatsuka and Teruo Higashi:
Application of the Crystallinity Ratio of Free Iron Oxides
for Dating Soils Developed on the Raised Coral Reef
Terraces of Kikai and Minami-Daito Islands,
Southwest Japan,
第四紀研究(The Quaternary Research)
41(16)p.485-493 Dec. 2002

第 1. 3. 18 図(4) 和布一干飯崎沖断層, 甲楽城断層 段丘面調査結果 (HB1)

段丘面調査結果(福井市鮎川町、AY1、標高約108m)



- ・航空レーザー測量によるDEMを用いた詳細な地形判読の結果、鮎川町(AY1)に高位段丘面(H3面)を判読した。
- ・鮎川町(AY1)における剥ぎ取り調査の結果、崖錐堆積物が認められた。
- ・崖錐堆積物について遊離酸化鉄分析を行った結果、R(赤色土)に区分された。
- ・以上の分析結果及び周辺の地形面の分布状況を踏まえ、本地点の地形面をH3面(高位段丘面)と評価。

第 1. 3. 18 図(5) 和布一干飯崎沖断層, 甲楽城断層 段丘面調査結果 (AY1)